

# ソナタが彩る未来庭園

二人の対話をもたらす新しい風

アドリアナ・アルカイデ  
(バロック・ヴァイオリン)

丹野めぐみ  
(ピアノ)

使用楽器: ベヒシュタイン  
平行弦モデル(1880年製)

## PROGRAM

モーツァルト

【ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調 KV454】

ベートーヴェン

【ヴァイオリン・ソナタヘ長調 作品24】

《スプリング・ソナタ》

【ピアノ・ソナタ嬰ハ短調 作品27-2】

《月光》

バッハ

【シャコンヌ】

アドリアナ・アルカイデ【Hokkaido】他

\*曲目は変更になる場合がございます。  
その場合はSNSでお知らせ致します。

10月12日 2024 日 土

開場 16:30 開演 17:00 終演 18:20

入場料: 5,000円 (ご予約確定後の銀行振込をお願い致します)

会場: サロン・ド・パッサージュ

東京都文京区関口1-1-3 プラザ飯田橋2F/TEL: 03-5225-1353

お申し込み: 東京ピアノラボ [info@megumitanno.net](mailto:info@megumitanno.net) TEL: 090-8659-7516

主催: 東京ピアノラボ 共催: 一般社団法人アーツカウンシルジャパン 協力: BEC音楽教室、スタジオねこがみさま

## コンセプト

【現代に今、甦る、奏鳴曲】

【ソナタ】の語源について古の日本人の知恵に感動を覚える。  
なるほど「奏でて」「鳴らす」曲＝ソナタ

それまでの声を使った音楽をcantata。それに対して【器楽で演奏する作品】ということで【ソナタ】が誕生したわけだ。テーマがあり、展開部があり、またテーマに戻ってくる。単純な形式に見えて実に奥が深い。再現部としてもう一度テーマに戻る時、そこにはもう同じ人間はいない。

バロックの時代には人間の喜怒哀楽を情感を持って楽器に託した。  
モーツァルトの時代になれば、その情動のパーツパーツを組み合わせて【対話】が生まれた。  
その対話を通じてさらに発展し、その上にある澄み切った世界に到達したモーツァルト。

ベートーヴェンにおけるソナタはもはやそれまでのカタチから実験的に変容し続ける。  
誰もが憧れる【月光】、実は全楽章を通じた「ファンタジー」として創られた。  
ベートーヴェンが名付けたわけでもない【月光】というタイトルが一人歩きしてしまったり、

若き女性に献呈されたことで愛の歌のように捉えられたりといろいろなことはさておき  
今宵はひとつ シンプルに

いろいろな感情からも解放されて、まるでエオリアンハープが神の息遣いを運んでくれるかのように  
風の音がそれぞれの楽器を鳴らしてくれるかのように  
その全てが始まる静けさにそっと耳を傾けてみよう  
何かが始まるその瞬間に

### Megumi Tanno 丹野めぐみ

日本と欧州を中心に活動を広げる丹野めぐみは独自のプログラムで世界を魅了する【鍵盤奏者】である。オランダの王立音楽院古楽科で研鑽を積み、18世紀から現代音楽まで幅広く興味を持つ。クラヴィコード、フォルテピアノ、ピアノをプログラムによって自由自在に組み合わせることで独自の世界観を提唱し続けている。

2001年、東京芸術大学音楽学部楽理科卒業後、デン・ハーグ王立音楽院古楽科フォルテピアノ科入学。

2007年、同音楽院修士課程卒業。在学中はアメリカのコネル大学のサマーアカデミーを受講。ブルージュ国際コンクールやジョン・ケール国際コンクールなどで受賞を重ねた。

2009年、ファン・ヴァッサナル国際古楽コンクールにて優勝。オランダやベルギーの都市14ヶ所で演奏し、その記録がオランダのラジオやテレビで放送された。

1997-2001年、東京芸術大学楽理科在学中【フォルテピアノ】との出会いがあり、故小島芳子氏に師事。モダンピアノを関孝弘氏に師事した。また在学中はシタール、ジャワガムラン、清元三味線など様々な民族音楽の見識を深める。

2001-2007年、オランダのデン・ハーグ王立音楽院フォルテピアノ科でバルト・ファン・オールド氏、スタンリー・ホッホラント氏に師事。在学中よりバルセロナやユトレヒト国際音楽祭にたびたび出演した。

2011年よりウィーンとパリにてサリー・サージェント女史に歴史的鍵盤奏法を学び続けている。

2024年シーズンはミハエル・ツァルカ博士とのモーツァルトの連弾曲をクラヴィコードやフォルテピアノで演奏収録。また神楽坂アルタムラにて太田垣至氏製作のクラヴィコードのサロン・コンサートを開催（毎週金曜日更新のMegumi Tanno Official YouTube Channelにて視聴できます。）

YouTube @MegumiTannoOfficial

www.youtube.com/@MegumiTannoOfficial



### Adriana Alcaide アドリアナ・アルカイデ

スペイン・バルセロナ出身のバロック・ヴァイオリニスト。

1999年にカタロニア政府より奨学金を得てオランダ・ハーグ王立音楽院に入学後、ヨーロッパ・バロック・オーケストラのメンバーとして研鑽を積み、ヨーロッパの主要な古楽アンサンブルに出演を重ね（L'Arpeggiata, Ludovice Ensemble, Al Ayre Español, Orquesta Barroca de Sevilla等）Rinaldo Alessandrini, Christina Pluhar, Martin Gester, Eduardo López Banzo, Monica Huggett, Jordi Savall, Andrea Marcon and Fabio Bonizzoni等の著名な指揮者のもと、世界の主要な音楽ホール（カーネギーホール、ヴァイグモアホール、コンセルトヘボウ等）にて演奏活動を展開する。

札幌在住のユニット【草舞弦】と出会い、日本の伝統民謡にも興味を持つ。スペイン大使館での演奏、来日の度に北海道での演奏会にも出演する。またフォルテピアニスト丹野めぐみとはバーゼル、バルセロナ、東京にて定期的に活動を続ける。2019年には自身初のCD【Still Life】を発表し、ヴァイオリンのみならず、即興演奏としての声においても類まれな才能を見ている。また2020年には自身の本“Mujerísima”をスペイン語で出版し、【女性としての自分を解放することがより自由に生きることにつながる】というテーマで執筆をしている。



Adriana Alcaide & Megumi Tanno DUOホームページ  
ad-meg.com

### サロン・ド・パッサージュ

〒112-0014 東京都文京区関口1-1-3 プラザ飯田橋2F  
ピアノパッサージュ株式会社 TEL: 03-5225-1353

アクセス：有楽町線江戸川橋駅（Y12）4番出口より徒歩1分半、1階は「クスリ・キリン堂薬局」らせん段で2階へ。

\*エレベーターはございません

